

日本アニメーション「アートギャラリー」展

日本アニメーションは、1975年の創業で、50周年を迎えました。多摩市和田にある本社スタジオでは、「世界名作劇場」シリーズ、今では長寿番組となった「ちびまる子ちゃん」などを日々制作しています。少しでも地域に貢献出来ればと多摩市役所と連携した活動も行っています。



世界名作劇場シリーズは1975年放送の「フランダースの犬」、「母をたずねて三千里」「あらいぐまラスカル」「赤毛のアン」など、今でも時代や世代を超えてご覧頂いております。当時の制作スタッフは、高畑勲さん、宮崎駿さん、近藤喜文さんとそうそうたるアニメ制作者が名を連ねており、見応えのある作品ばかりです。一方スタジオには、イラストレーターも在籍しています。アニメの1シーンを絵画にしたり、DVDなどの商品のパッケージを描いたりしています。

展示期間：1月18日(日)～2月1日(日)

今回は、日本アニメーション所属のイラストレーターの永見夏子のアート作品を中心に展示させていただきます。ラスカルや世界名作劇場キャラクター、妖精などが登場し、タイルなども組み合わせた、優しい世界観のアート作品も創っています。「okaeri TAMA」と題した聖蹟桜ヶ丘をテーマにしたイラストシリーズは、聖蹟桜ヶ丘まち歩きイベントの景品ポストカードや、缶バッジ、菓子工房れすとのプリントクッキー等にも描かれています。また、譚小勇の描いた世界名作劇場絵画も展示します。是非ご覧頂けますと幸いです。

